

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

2012

秋

9月1日発行(季刊)



文化は人なり

財団の創設者、故中條晴夫(写真中央)は設立の動機を、このひと言で表現した。今年は「財団賞」に始まる文化振興活動を始めて20年目。讃岐香川の様々な文化を応援して来た。文化を継承発展させ続けて行くということは、多くの担い手の努力が必要となる。新しきを加えながら伝燈を灯し続ける一助となるよう精進したい。

(写真は第1回理事会・発足記念懇話会。平成5年10月12日)

中條文化振興財団20年の歩み
瀬戸内生活工芸祭2012の開催に寄せて
9月から11月までの茶華道・イベント情報
財団の活動報告とお知らせ

75

発行・公益財団法人中條文化振興財団
〒760-0017高松市番町2丁目1番12号
TEL. (087) 826-3355 FAX. (087) 826-2212

中條文化振興財団 二十年の歩み

に理解を深めるという目的の一歩前進を感じています。

あ・うんの数寄大茶会のこと

平成五年に故・中條晴夫によつて設立されました財団が二十年を迎えるにあたりまして、古人のいう十年一昔に倣つた言い方をすれば、只今、ふた区切りなるものに更なるものを重ねて歩み続けられます。これに、みなさまのご支援、ご協力の賜物と感謝申し上げますと共に、これからもご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

地域文化の創造

この二十年に及ぶ年月の中、「地域文化の継承と振興に資する事業を行い、活力ある地域文化の創造に寄与することを目的とし、意識の啓発、活動の奨励、情報の収集・提供、茶道文化会館及び茶道文化の普及、伝統文化等の継続・保護を行う」ことを定款に掲げて、それに沿つた事業を企画・実行してまいりました。その都度、さまざまにご支援ご協力いただきました皆様に感謝と、私どもの反省やこれからの方針を探る思いで、振り返つてみたいと思います。

日本の伝統文化、とりわけ郷土の文化に対する熱い思いを文化は人々と表現した中條晴夫の設立精神は、財団事業の大きな柱のひとつ「文化活動奨励事業」として、香川の地域文化の継承と発展に務めた団体個人を顕彰する「財団賞」や、より広い分野の芸術文化活動を応援する「助成金」という形で続けて参りました。

市井にあって、この道一筋に歩んでこられた団体個人に対する尊敬の顕彰、そして、新しい創造の立ち上げに苦労している芸術文化事業振興の資金援助という財団の思いは、受賞者のますますのご精進（未来への継承）と、受与者の成育のお約束（イベントの成功）という、うれしい成果となつて、毎年、財団設立記念日の恒例行事「財団賞授賞式、助成金交付団体授与式」を迎えておりまます。財団の立礼席で執り行う式典では、技を踏襲する伝統文化と裾野を広げる新しい文化という、異なった二つの活動の輪が、共に、香川の文化の未来を期待させ、文化は人なりを再確認する場にもなつております。

去年は中讃地域の坂出、丸亀、宇多津とJR沿線の町を歴訪する形にて、次第に多様化して四十一会場の規模までに広がつて行きました。今年は、おとぎ話「桃太郎と鬼」の女木島、古事記に登場する「豊玉姫」の男木島に会場を限定して、フェリーワークの船名を冠して「めおん」でお茶しに行きました。茶席や点心席の予約を排したシステムなので、自由に動かれるお客様などと重なつて長時間お待せしたり、バス便がお祭り行列の交通渋滞で時刻表通りに行かなかつたり、思わずハプニングにお叱りを受けることもありました。待合の時間がおしゃべりタイムで楽しかつたとか、行列を作つて待つた甲斐があつたとの感想もありました。



財団賞を授与する岡市友利代表理事。財団設立の発起人の一人（平成5年）。平成22年、公益財団法人への移行を機に代表理事に就任。



平成9年4月。茶室「美藻庵・晴松亭」の席披きで炭点前をして下さる武者小路千家家元。不徹斎宗匠。美藻庵の扁額もいただきました。

しかし、何といつても、会場の下見をしながら目論んだ、土地柄の特性や風土にあつた茶会の趣向という、いなれば、茶会の副題的なものを、故郷の再発見になつたと受け取つていただけたことがうれしいことでした。

おもてなしは、表千家、裏千家、武者小路千家、江戸千家、石州流など各流派の先生方による濃茶・薄茶の茶席、さらに、子供大茶会の可愛い薄茶席、さらに指折つて、紅茶・コーヒー・ハーブティなどの席、加えて、ファッショント・お花・音楽・香道と、まさに、茶・味・音・香・衣の大コラボレーション。味の点心席は老舗料亭の懐石、さぬきうどんを添えた懐石、モダンなイタリアン、その地域の郷土食やお接待などなど、お客様たちの選択を迷わせるほど多種多様に用意しました。

チケット一枚で「ぐるり高松さうどうぞ」の大茶会は茶席担当の先生方のご尽力や常連の方たちの口コミで賑わい、マスクミにも取り上げられ、参加して下さるお客様たち、釜を掛けて茶席を仕切つて下さる先生方、お手伝いのボランティアスタッフのご協力あつてこそではあります、お茶三昧の一日を構成するために関わる人の数の多さは、まさに、文化は人なりを思わせました。

「美藻庵・晴松亭」の茶室をハード

面で活用した茶道文化会館事業及び茶道文化の普及事業とした貸し茶室事業がありますが、交通の便利な市中にあつて本格的な侘び数寄の茶会のできる場所として、色々な方に色々な使い方をしていただきました。毎月第三火曜日に大勢のお客さまを迎えて楽しく賑わう月に一度の喫茶室。初釜を筆頭にした月釜。正午の茶事や季節にあわせて朝茶、夜咄、夕ざりと茶事もたびたび催してきました。特に、あ・うんの数寄講座に連動した茶会は、桃山時代よりの侘茶碗の祖家・樂吉左衛門様はじめ、松平不昧公ゆかりの天下一茶器商・戸田一玄庵様など、地方では参席しがたい憧れの亭主茶会に予約が殺到の一場面もありました。各先生方のご講演内容は「あ・うんの数寄講座」と題した本に上梓しましたが、今でも遠方よりお求めの問い合わせをいたくことがあります。日本の伝統文化のすばらしさをお伝えする一助になりましたことと密かに自負しております。

また、茶室竣工十周年記念茶会では栗林公園内の茶室を使つて、讃岐は栗林公園内の茶室を使つて、讃岐木守茶碗」の講演、梅澤記念館館長の梅澤宗信様、三千家各流派の高弟の方々、煎茶・安部流家元の茶席にみなさまをお招きして、数々の歴史的な名品、大切に伝わった時代物の道具類がかもす京都の匂い、本場の雰囲気にうつとりしたなどと喜んでいました。

創立二十周年の昨今には、京都の茶道美術館の魁・北村美術館館長の木下收様、大西清右衛門美術館館長の千家十職の釜師・大西清右衛門様が釜を掛けてくださいました。今秋は、武者小路千家後嗣・千宗屋宗匠と、ご親交の深い東京国立博物館名誉会員の林屋晴三先生にシリーズの掉尾を飾つていただく予定も整いました。

茶道文化会館事業として、友の会「晴友会」を結成し、財団の円滑な活動には、華道ガイドを網羅した掲載で情報発信の一役を担いながら、五千部の無料配布を続けています。

地域の文化を応援すること

文化情報の収集・提供事業として季刊発行の文化通心は財団の活動状況だけでなく、県下のイベントや茶華道ガイドを網羅した掲載で情報発信の一役を担いながら、五千部の無料配布を続けています。

その他目的を達成するために必要な事業としては、友の会「晴友会」

を結成し、財団の円滑な活動には、欠かせない存在となっています。平成二十二年に、政府の公益法人制度改革で財団法人からの公益法人化第一号を果たし、奇しくも、この年に香川県文化芸術選奨という思ひがけない表彰を受けました。

また、公益化に伴い新しく追加されました地域の伝統文化等の継承・保護に関する事業としては、四国新聞連載の「探訪讃岐の茶室」を本としてまとめることとなりました。経済界の激震で難しい経営時代を迎えるながらも、茶の湯を中心とした日本の伝燈に理解を深める活動を続けていきたいと思つております。



例えば「ヤングヤング子供大茶会」。若い世代に日本人の伝燈を繋いで行くためにも本格的な茶室が役立つ。子供達は、茶室の緊張感を敏感に感じ取る。



京都の数寄屋研究所「心傳庵」木下孝一棟梁は、永く残る茶室をと財団の茶室を建てて下さった。金閣寺の茶室も建てられた現代の名工。平成23年に永眠。

瀬戸内生活工芸祭2012の開催に寄せて

2012年11月23日(祝・金)、24日(土)

会場 玉藻公園および女木島

今秋、高松で初めて開催される「瀬戸内生活工芸祭2012」。全国公募により出展者を厳選した香川で初めての本格的なクラフトフェアです。香川県政策部文化振興課を中心いろいろな団体が実行委員会を構成する形で、毎年継続的な開催を目指して行こうと立ち上げるイベントです。

「瀬戸内生活工芸祭2012」の実行委員会は、総合ディレクターに木工作家のカリスマ、三谷龍二氏を迎え、若手クラフトマンの登竜門となるようなクラフトの祭典を目指して行こうと言う方向で立ち上げたと考えています。

全国からの応募者は、四三九名。内八十一名の作家が選考されました。現在は、実行委員会もイベントの具体的な準備に追われる日々を過ごしています。それに合わせて、お手伝い下さるボランティアや経理のスタッフなどを募集しています。クラフトの好きな方は、いろんな作家さん達と仲良く出来るチャンスだと思います。ご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい。

さて、三谷氏は全国のクラフトマンが目標としている「クラフトフェアまつもと」を二十八年前に立ち上げたメンバーの一人です。現在は人口十一万人の長野県松本市に、二日間で七万人の来場者を集めています。さらにその盟友である「まちのシェーレ963」を監修した石村由起子(奈良のくるみの木主宰)さんもディレクターとして協力して下さいます。

今年七月に国的重要文化財にも指定された被雲閣の各部屋では、赤木明登氏(塗師)、辻和美氏(ガラス)、内田鋼一氏(陶磁)の招待作家三氏の個展が開催(販売も予定)され

れるほか、かつての讃岐の工芸の基となつた讃岐民具連関連の作品や、「欲しかったモノ展」の作品なども紹介します。

また、公園の桜の馬場では、「生活工芸

祭マルシェ」として香川のこだわりの食の提供やパフォーマンス、ワークショップなども開催されます。

さらに海を渡つて、女木島の海辺に特設される会場では、三谷龍二氏(木工)と安藤雅信氏個展会場が設置される他、松本で人気の懐石「温石」の料理を招待作家の器で召し上がれます。(要予約)また、これらの器はご希望の方にセットでご購入いただけます。

本イベントは、去年第二回目を成功させた「高松国際ピアノコンクール」や、来年第二回目を迎える「瀬戸内国際芸術祭」と同じように、県内、近県を始め全国からお客様を集められる全国レベルのクラフトフェアを目指しております。

そして、十一月を瀬戸内の「工芸の月」として、街中に点在するギャラリーや飲食店にも協力を呼びかけ、街全体が生活工芸で賑わう企画も予定しております。つきま

しては、開催に向けてご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。協賛のお願いもしております。

イベントのコンセプトは「工芸の収穫祭を楽しくお祝いしよう!」ということで、メイン会場の玉藻公園では、西門、東門周辺の屋外に、出展作家さんの個性豊かなテントブースが建ち、それぞれ作品の展示販売をします。被雲閣前の特設テントでは、選考委員の皆様の作品の展示販売もありますので、乞うご期待です。



今年の5月に開催された「クラフトフェアまつもと」。約250ブースに2日間で7万人集まった。

財団行事予定

九月 (九月~十一月)

◆ 初心者向け茶事

九月二日(日) 処 美藻庵 晴松亭

正午の茶事 午前十時三十分 タガリの茶事 午後四時

会費 一万五千円 亭主 表千家流 美澤宗包

◆ 和菓子講座 高橋初乃先生 九月十四日(金) 午前十時~十二時

◆ 月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日

九月十八日(火) 午前十時~午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

◆ 茶の湯よりもやま話 伏見章先生 九月二十五日(火) 午後一時三十分

◆ ヤングヤング(子供茶の湯講座) 每月第二・第四土曜日

九月三十日(日) 処 美藻庵 晴松亭

◆ 濃茶 武者小路千家家元後嗣 千宗屋宗匠

薄茶 東京国立博物館名譽館員 林屋晴三

茶席 濃茶・薄茶・点心席

会費 二万三千円

山下純子先生

九月八日(土)・二十二日(土) 午前十一時

◆ 財団設立二十周年記念茶会 九月三十日(日) 処 美藻庵 晴松亭

◆ 九月三十一日(月) 午前十時~十二時

◆ 各席十八名・二時間三十分を予定

午前九時より開始・全八席

◆ 財団賞式・助成金交付団体認定書授与式

十月六日(土) 午前十時三十分

◆ 懐石講座 三友居 山本勝先生

十月二日(火) 午前十一時~午後三時

◆ 和菓子講座 高橋初乃先生

十月十二日(金) 午前十時~十二時

◆ 月に一度の喫茶室 每月第三火曜日

十月十六日(火) 午前十時~午後四時迄

ランチは要予約です。

◆ 茶の湯よりもやま話 十月二十三日(火) 午後一時三十分

◆ ヤングヤング(子供茶の湯講座) 山下純子先生

十月十三日(土)・二十七日(土) 午前十一時

いわぶの生クリーム大福

今年も残暑が厳しそうですが、そんな時にはさっぱりとした生クリーム大福はいかがでしょう。

生クリーム大福といえば以前、津田サービスエリアで買える「きなころ」を紹介しましたが、今回は三木町にある菓子処いわぶの生クリーム大福です。

この生クリーム大福は五つの味が楽しめます。

チョコ、コーヒー、イチゴ、抹茶、夏みかんを練りこんだ餡で生クリームを包み、そのまわりが柔らかい餅に包まれています。

この大福は餅にも味付けされているので、それぞれの味がしっかりと感じられ、さらにミルキーな生クリームが味を引き立ててくれます。

素材は季節によって変わり、秋になると夏みかんが栗になったりするそうです。

柔らかく、とろけるような食感が年輩の方からお子さままで楽しめる一品ではないでしょうか。

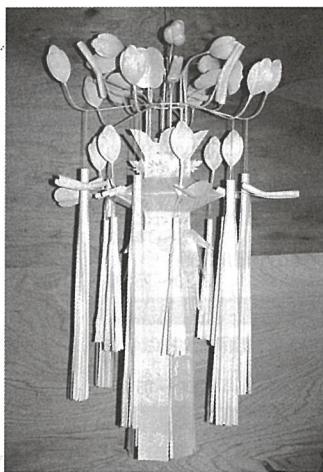


くにもの(10)

盆燈籠

かすかな湿りを含んで薄墨色に明るむ静寂の中、小さな音を立てて蓮の花が咲き始めます。インド原産の蓮は仏さまの聖なる華として、さまざまに祈りの美を構成してきました。

奈良・春日神社の軒燈を原型にして、竹枠を組んで和紙を貼った火袋にこの蓮華を飾り、亀甲を切り込んだ帛(はく)垂れ)を付けたお盆燈籠の、西讃や高松という分布具合におもしろい言い伝えがあつて、徳川幕府の一国一城令に従つた生駒家が丸亀の支城を高松に統合した時、丸亀から移ってきた商人たちの丸亀町ができたように、祈りの灯をともす燈籠の風習が高松に広がつたといわれます。家族の新盆の年、仏前の座敷燈籠の(八月一日から飾るので朔日燈籠とも)ほのかなあかりの中で、和紙を細かくたたみ、折り山を糸でしばつて仕上げた蓮華の花が咲き揃うさまは、まるで、人々の哀しみを救う優雅な觀音さまの立ち姿。伝統を受け継ぐ讃岐の祈りの技が哀しみをやわらげます。



●選考委員の展示販売
永見眞一氏(桜製作所会長)、中村好文氏(建築家)、皆川明氏(ミナヘルホネンデザイナー)、山口信博氏(グラフィックデザイナー)、三谷龍二氏(木工デザイナー)、石村由起子氏(くるみの木主宰)、一田憲子氏(編集者・ライター)

瀬戸内生活工芸祭 2012開催概要	
日時	2012年 11月23日(祝・金) 24日(土) 9:00~16:00
会場	高松市「玉藻公園」「女木島」
主催	瀬戸内生活工芸祭実行委員会
後援	香川県、高松市
協力	香川県デザイン協会

●選考委員の展示販売
永見眞一氏(桜製作所会長)、中村好文氏(建築家)、皆川明氏(ミナヘルホネンデザイナー)、山口信博氏(グラフィックデザイナー)、三谷龍二氏(木工デザイナー)、石村由起子氏(くるみの木主宰)、一田憲子氏(編集者・ライター)

瀬戸内生活工芸祭実行委員会
代表 三井文博 特定非営利活動法人アーキペラーゴ
副代表 中條晴之 公益財団法人中條文化振興財團
委員 山地知洋 枝 香川県政策部文化振興課
窪 保彦 岡 一洋 高松市玉藻公園管理事務所
上出栄治 香川県デザイン協会
今村佳子 讀岐ライフスタイル研究所
小笠原哲也 古道具 MARUTE

入場券協賛のお願い

●瀬戸内生活工芸祭「2012」の開催について
ご支援下さる方を広く募集しております。
今回はチケット協賛として以下のように募集いたします。
◎一口一円(玉藻公園会場 五百円×二十枚)
ご協賛頂けた方は、希望によりサイトにお名前(会社名)を掲載させて頂きます。
◎五口五万円以上の協賛の場合、来場された皆さんにお渡しするパンフレットにお名前(会社名)を掲載させて頂きます。

◆和菓子講座 高橋初乃先生
十一月九日(金) 午前十時~十二時
◆五人様茶会
十一月十一日(日)
第一席 A席・B席 九時
第二席 C席・D席 十時三十分
第三席 E席・F席 十一時十五分
第四席 G席・H席 十二時四十五分
各席二時間十五分を予定
◆月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日
十一月二十日(火)午前十時~午後四時迄
ランチは要予約です。
◆茶の湯 よもやま話 伏見章先生
十一月二十七日(火)午後一時三十分
◆ヤングヤング(子供茶の湯講座)
山下純子先生
十一月十日(土)・二十四日(土) 午前十一時~

お問い合わせ、お申し込み
瀬戸内生活工芸祭実行委員会事務局
〒760-0034
香川県高松市内町2-15 工クセルビル 101
info@kougeisai.com
TEL 087-873-2107 FAX 087-873-2108
http://kougeisai.com

正午の茶事 各日 午前十時三十分	
処 美藻庵	晴松亭(当財団茶室)
亭主 表千家流	蘇鐵庵 水守清隆・康隆
会費 二万円(各定員十名)	
十月二十八日(日)	
処 美藻庵	晴松亭(当財団茶室)
席主 表千家流	蘇鐵庵 水守清隆・康隆
茶席 濃茶・薄茶・点心席	
会費 一万円	
十一月	
入席時間ご案内 (各席十五名)	
第一席 九時 第二席 九時五十分	
第三席 十時四十分 第四席 十一時三十分	
第五席 十二時二十分 第六席 十三時十分	
第七席 十四時 各席二時間三十分を予定	

◆和菓子講座 高橋初乃先生
十一月九日(金) 午前十時~十二時
◆五人様茶会
十一月十一日(日)
第一席 A席・B席 九時
第二席 C席・D席 十時三十分
第三席 E席・F席 十一時十五分
第四席 G席・H席 十二時四十五分
各席二時間十五分を予定
◆月に一度の喫茶室 每月第三火曜日
十一月二十日(火)午前十時~午後四時迄
ランチは要予約です。
◆茶の湯 よもやま話 伏見章先生
十一月二十七日(火)午後一時三十分
◆ヤングヤング(子供茶の湯講座)
山下純子先生
十一月十日(土)・二十四日(土) 午前十一時~

【月に一度の喫茶室】以外は予約が必要です。お申し込み、お問合せは、当財団事務局まで(水曜日休館)
高松市番町二丁目一一一二
正午の茶事 各日 午前十時三十分
処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)
亭主 表千家流 蘇鐵庵 水守清隆・康隆
会費 二万円(各定員十名)

イベントガイド

香川県立ミュージアム ☎ (087)822-0247

9/29~10/21 特別展「画業50周年—氣韻生動—大藪雅孝展」
特別展示室 9:00~ ●
9/28~11/11 企画展「和」の空間にくらす
企画展示室1 9:00~ ●
9/28~12/25 企画展「ミュージアムアートコレクション 猪熊弦一郎と同時代の画家たち」
企画展示室4・5 9:00~ ●
11/3~12/2 特別展「丸亀京極家—名門大名の江戸時代—」
特別展示室 9:00~ ●
11/15~12/25 企画展「讃岐の近代医学—その仁術とくすりー」
企画展示室1 9:00~ ●
高松市美術館 ☎ (087)823-1711
9/8~10/28 第3期常設展 1室:ピカソからウォーホルまで
2室:香川の人間国宝
常設展示室 9:30~ ●
9/15~10/28 ウルトラマン・アート!
時代と創造—ウルトラマン&ウルトラセブン
一般・企画展示室 9:30~ ●
9/15 ウルトラマン・アート! 展開連イベント
「スペシャルトークショー & サイン会」
ゲスト: 桜井浩子(フジ・アコギ隊員役)
先着100人 サイン会は図録・著書購入者対象
1階講堂 13:00~ ■
10/7 ウルトラマン・アート! 展開連イベント エントラ
ンス・ミニコンサート「音楽でつづる宇宙と平和」
エントランスホール ①11:00~、②13:30~ ■
11/3~12/24 第4期常設展 1室:女性陶芸家との出会い(仮称)
2室:香合・香りのうつわー(仮称)
常設展示室 9:30~ ●
高松市歴史資料館 ☎ (087)861-4520
<4F 企画展示室>
9/15~10/28 企画展「久保桑閑とその時代」江戸時代中期に古高
松に生まれた久保桑閑は、医術を修め平賀源内を伴つ
て長崎遊学を果たしたほか柴野栗山らとも広く交わり
彼らの庇護者ともなりました。彼を通して18世紀の讃
岐の儒学者や医学史を概観します。 9:00~ ●
11/10~12/24 企画展「源平合戦の世界(仮称)」 大河ドラマで
人気となった平清盛の時代から源平合戦を描いた資
料・絵画などを一同に展示・紹介します。 9:00~ ●
菊池寛記念館(サンクリスタル高松) ☎ (087)861-4502
<菊池寛記念館文芸講座>
9/1 「大平サクー宰相の母」 講師:薄井八代子
3階第1集会室 13:30~ ■
10/6 「西行物語」 講師:石川一
3階第1集会室 13:30~ ■
11/10 「白秋短歌の系譜—修・終二・乙女・公彦一」
講師: 笹本正樹 3階第1集会室 13:30~ ■
玉藻公園 ☎ (087)851-1521
9/2 香川文化芸術フェスティバル 披雲閣
9/4 D E N A コースティックライブ 披雲閣
9/7 菊作り講習会 披雲閣
9/21~23 第57回香川国風小品盆栽会 秋季展 披雲閣
10/18~11/18 菊花展 二ノ丸等
10/26 披雲閣オリジナルコンサート2012 披雲閣 19:00~ ●
11/3 屋島ライオンズクラブ秋の茶会 披雲閣
ミュースホール ☎ (087)833-0013~0014
10/27 デバペットシアターひとみ and 音楽療法
グループ「WALKS」高松公演 13:30~ ●
香川県政策部文化振興課 ☎ (087)832-3785
10/13 かがわ文化芸術祭主催公演オーブニング行事
「駅から駅へ キャラクター大集合&街角アート
パフォーマンス・プレミアム」
観音寺市民会館 14:00~ ■
高松市教育委員会文化財課 ☎ (087)839-2660
9/9 ひょうげ祭り 香川町浅野集落研修センター~新池 14:00~ ■
9/22 田井の子供神相撲 六萬寺(高松市牟礼町牟礼1450番地) 正午から ■
11/24 古代山城ブレザミット 香川国際会議場 時間未定(午後) ■
11/25 古代山城ブレザミット現地説明会 屋鳩城門ほか 時間未定(午前) ■
<ふるさと探訪>
9/30 「六萬寺周辺を訪ねる(予定)」 会場未定 9:30~ ■
10/28 「鬼ヶ島を訪ねる(予定)」 高松港 雄島海運フェリー乗り場 7:30~ ■
11/25 「津田町鶴羽周辺を訪ねる(予定)」 会場未定 9:30~ ■

高松市文化芸術振興課 ☎ (087)839-2636

9/29 音の祭り 橋ノ丘総合運動公園自由広場(国分寺町) 17:30~ ■
10/27 TSUKEMEN サンポートホール高松 第1小ホール14:00~ ●
11/29 二兎社公演「こんばんは、父さん」 サンポートホール高松 大ホール 19:00~ ●
(公財)大社教育文化振興財団 ☎ (090)7141-3452
10/15、16 宗家藤間流八世宗家 藤間勘十郎 古典芸能の世界 サンポートホール高松 第1小ホール
15日 19:00~、16日 13:00~・18:30~ ●
高松市社交ダンス同好会 ☎ (090)1004-3775
11/4 かがわ文化芸術祭参加 第4回社交ダンスパーティー サンポート高松7階 第1リハーサル室 12:30~ ●
高松天満屋5階 美術画廊 ☎ (087)812-7548
9/5~11 備前 大石橋宏樹初個展 10:00~ ■
9/26~10/2 茶の湯 書画幅展 10:00~ ■
10/3~9 交趾焼 中村翠嵐茶陶展 10:00~ ■
10/24~30 日本芸術会員 清水達三新作品 10:00~ ■
11/7~13 四国のガイヤちだ2012 一四国の女性作家の集いー 10:00~ ■
11/21~27 児島塊太郎展 10:00~ ■
NHKふれあいギャラリー ☎ (087)825-0160
9/4~9 第6回NHK漢字書道教室作品展 NHKカルチャー漢字書道教室(A・B) 9:30~ ■
9/11~16 第34回讃岐工芸展 志生会 9:30~ ■
9/22~23 秋のふれあいフェア「平清盛」巡回展、キャラクターショー「わんわんとあそぼう」他 NHK高松放送局 9:30~ ■
10/2~7 第9回グループ彩展 9:30~ ■
10/9~14 映画の歴校創立10周年記念活動展&20世紀名画パンフ展 9:30~ ■
10/16~21 第5回SIC写真展 (さぬきインターネットクラブ) 9:30~ ■
10/23~28 俳画展 香川現代俳画協会 9:30~ ■
10/30~11/4 ばらとガーデンのコラボ展 童雲ばらクラブ 9:30~ ■
11/6~11 第30回香川風の会写真展 9:30~ ■
11/13~18 「サークル・フォア」写真展 9:30~ ■
11/20~25 楽しい水彩画展 NHK文化センター高松楽しい透明水彩画教室 9:30~ ■
11/27~12/2 2012年写真展 フォトさぬき 9:30~ ■
ヨンデンプラザ高松 ☎ (087)851-3863
<ギャラリー>
9/4~9 香川町水彩画クラブ作品展 水彩画約30点 10:00~ ■
9/11~16 第18回研陶酔会作品展 脇器約150点 10:00~ ■
9/25~30 秋の楽しい絵手紙展 絵手紙約450点 10:00~ ■
10/2~7 近代詩文書展 書作品約25点 10:00~ ■
10/16~21 絵画展(グループ虹) 絵画約20点 10:00~ ■
10/23~28 第15回みれ押し花会作品展 押し花額約40点 10:00~ ■
10/30~11/4 キャノンフォトクラブ写真展 写真約25点 10:00~ ■
かをり園 ☎ (087)821-5957
9/26~30 古今茶之湯総合展 恒例となりました新古茶道具五百余
点を一同に展示即売致します(大特価コーナー設置) 御坊町福善寺2階 10:00~ ■
まちのシューーレ963 ☎ (087)800-7888
9/1~5 「a.秋冬コレクション受注会」(仮) ギャラリー 11:00~ ■
9/15~30 「上野剛児 陶展」(仮) 東かがわ市在住の陶芸家
上野氏の作品を展示販売 ギャラリー 11:00~ ■
10/20~28 「村上ラジオ3 大橋歩 挿絵版画展」(仮) ギャラリー 11:00~ ■
11/23~12/9 「赤木智子の生活道具店」ギャラリー 11:00~ ■
ギャラリーen(今新町) ☎ (087)851-3711
9/7~16 金工 長谷川一望斎春光展 10:00~ ■
10/5~20 望月通陽展(型染め) 10:00~ ■
10/31~11/6 赤木明登展(漆) 10:00~ ■
11/12~18 ヴァグリ工展(バッグ) 10:00~ ■
桜ショップ高松店 ☎ (087)831-8866
10/10~16 「小泊 良 陶器展」 沖縄の人気作家小泊良氏の作品展 10:00~ ■

一絃琴一遙会

9/27 仲秋の名月・一絃琴觀月コンサート サンクリスツル高松 18:00~ ■
10/21 第八回一絃琴演奏会 香川県文化会館 13:30~ ■
高松市香南歴史民俗郷土館 ☎ (087)879-0717
<2F市民ギャラリー>
9/8~30 香南町条里跡・塩江町西地遺跡 発掘調査速報展 9:00~ ■
10/6~14 表装展~女性による色彩の美~ 9:00~ ■
10/20~12/16 火縄銃と日本刀展(仮称) 9:00~ ■

高松市塩江美術館 ☎ (087)893-1800

8/4~9/17 企画展 藤原慎治展 9:00~ ■
8/30~H25.1/14 平成24年度第2期常設展 熊野俊一自選作品展 9:00~ ■
9/22~10/21 企画展 いにしえのわが故郷展 9:00~ ■
9/29 ワークショップ「けしゴム(はんこの蔵書票)」 講師:今井まいこ(はんご作家)先着16名
9/1午前8:30より予約受付(要予約) 13:00~▲

庵治町文化協会 ☎ (087)871-3599

9/2 文化講演会・伏見始郎先生「ふるさと庵治・源平屋島合戦」
庵治コミュニティーセンター 10:00~ ■
11/3~4 文化展 庵治コミュニティーセンター 9:00~ ■
11/4 芸能大会 庵治小体育館 13:00~ ■
高松市石の民俗資料館 ☎ (087)845-8484

9/28~10/21 第27回思可牛展 企画展示室・エントランスホール 9:00~ ■
10/20 第27回思可牛展開連行事 思可牛ワークショップ(モビールを作ろう)
講座研修室 10:00~▲
10/26~11/18 石の里のアーティストたち 公園 9:00~ ■
未定 石の里のアーティストたち藤野充茂ワークショップ(詳細未定) 講座研修室 時間未定
10/26~11/18 藤野充茂石影展 企画展示室 9:00~ ■
11/23~30 創立39年を迎えて 染色すなご染技法による作品展 企画展示室 9:00~ ■
10/20 「4つの手のコンサート~ピアノデュオで綴る名曲のタペ」
エントランスホール 18:00~ ■
三木町文化協会 ☎ (087)891-3314

11/3~4 第42回三木町文化祭 三木町文化交流プラザ 9:00~ ■
土庄町文化協会 ☎ (0879)62-7013

9/2 第13回小豆島童謡音楽祭 土庄町立中央公民館 13:30~ ■
11/3~4 第30回土庄町民文化展 フレトイアホール 時間未定 ■
さぬき市教育委員会事務局生涯学習課 ☎ (0879)42-3107

8/25 お大師山の火祭り 大川町田面国木バス停付近 18:00~ ■
さぬき市度音楽ホール ☎ (087)894-1000

10/28 宝くじコンサート「大阪交響楽団演奏会」
指揮: 松下京介 ピアノ: 藤井睦子 ソプラノ: 渡辺里香
テノール: 若井健司 14:00~ ■
とらまるパベットランド ☎ (0879)25-0055

9/2, 30, 11/23~25 「おら、テンゲだあ!」「すぐれたつきみそう」
とらまる人形劇団 *新作 13:30~ ■
9/8, 9, 15~17 とらまる人形劇カーニバル2012 人形劇場とらまる座・開館20周年記念行事 園内各施設
時間は各公演により異なる ●

9/22, 23, 10/31~11/4, 11/18 「シャオトンのぼうけん」「くじらのおれいまいり」とらまる人形劇 平日 10:30~、土日祝 13:30~ ■
10/3~8 「したきりすずめ」「おおかみと七ひきのこやぎ」とらまる人形劇 平日 10:30~、土日祝 13:30~ ■
10/10~14 「チャハハ丸とへへへ丸」「チュータとクッキー」人形劇団ココン 平日 10:30~、土日祝 13:30~ ■
10/17~21 「ぼくがいばんつよいんだぞ!」人形劇団どむらん 平日 10:30~、土日祝 13:30~ ■
10/24~28 「ともだちはズブとトト」「のはらであそば」他くわえ・パベットステージ 平日 10:30~、土日祝 13:30~ ■
11/11 「森と夜と世界の果てへの旅」特別公演: 小学生以上対象 デフ・パベットシアター・ひとみ ①13:00~、②16:00~ ■

●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)

「文化通心」第76号は12月1日発行です。次の期間(12月1日から2月末日)の情報を11月10日までにお知らせ下さい。☎ (087)826-2212

上記予定は変更する場合もあります。

■財団の活動報告とお知らせ

中條文化振興財団

平成二十四年度 第二十回財団賞決定のお知らせ

二十周年記念茶会の「」報告

十月の月釜と茶事 うつろいの中、名残の茶事

各市町村の教育委員会等から四団体の推薦をいただき、八月二十五日の理事会において、審議の結果、当財団理事の妹尾共子氏推薦の「小豆島土庄町肥土山自治会」に決定いたしました。

肥土山の「虫送り」は、小豆島靈場四十六番・多聞寺を出発し稻に付く虫退治のために松明（火手）を持って田んぼのあぜ道を練り歩きます。

起源は源平合戦の頃と言われますが、現在の形になつたのは江戸時代と言われ、三五〇年の歴史を伝えながら、一九七〇年には土庄町無形民俗文化財の指定も受けました。

多くの親子連れが参加し自治会のお世話で守り継承されてきた伝統行事は、美しい日本の原風景であり、季節の風物詩的 existenceとして故郷を語り続けていくものと思われます。

三五〇年の歴史を伝えながら、一九七〇年には土庄町無形民俗文化財の指定も受けました。

多くの親子連れが参加し自治会のお世話で守り継承されてきた伝統行事は、美しい日本の原風景であり、季節の風物詩的 existenceとして故郷を語り続けていくものと思われます。

三五〇年の歴史を伝えながら、一九七〇年には土庄町無形民俗文化財の指定も受けました。

今年も暑い夏でした。

平成五年十月に設立の財団は、今年二十年を迎えます。

この度、それを記念いたしまして、茶室「美藻庵」に於いて、武者小路千家家元後嗣 千宗屋宗匠（斎号は隨縁齋）に金を掛けていただくこととなりました。

千宗屋宗匠は、伝統的な茶の湯の世界をわかりやすく読み解くための本なども数多く出版され、これから「茶の湯」を牽引して下さる代表的な茶の湯者の一人として、流派に関係なく注目されています。

若宗匠は、茶の湯とも縁の深い天台宗と臨済宗でそれぞれ得度され、慶應義塾大学大学院では中世日本絵画史を修められました。二〇〇八年には、文化庁文化交流使としてニューヨークで茶の湯文化の紹介をされました。日本美術史から茶道具、古美術、現代アートに至るまで造詣が深く、メディアで紹介される機会も多く、ともすれば形骸化したと言われる茶の湯の世界に新たな魅力を見せて下さい。

十一月の茶会 うれし樂しい「五人様茶会」

茶の湯の世界では、十月は年の暮れ、風炉の最後でもあります。一年最後のお茶を惜しむ名残の月です。

去り行く秋を惜しみながらの茶事と月釜を、この度は京都円山公園の上にある「蘇鉄庵」の水守清隆さん、康隆さん親子（表千家）にお願いいたしました。財団の茶室を建てて下さった木下孝一棟梁とのご縁が始まり、毎年、季節を変えながら楽しい茶事していただいて、今年は五年目となります。

行事予定でもご案内の通り、十月の名残の茶事と月釜の三日間です。どうぞこの機会に本格的な懐石の茶事を体験して下さい。月釜は、懐石が点心になります。

行事予定でもご案内の通り、十月の名残の茶事と月釜の三日間です。どうぞこの機会に本格的な懐石の茶事を体験して下さい。月釜は、懐石が点心になります。

当財団も設立から二十年が経ちました。十一年目からの歩みを本文に書かせていただきました。いろんなことにチャレンジし、振り返っては前に進みつつの二十年でした。この間、多くの皆様方にご協力、ご参加いただきましたことを、心より感謝を申し上げます。

十一月は、茶の湯では正月、お抹茶の新茶の到来を、炉開きと共に祝います。本格的な茶事は、五人様くらいまでの少人数が理想と言われます。少人数ならば、初めて顔を合わせても、比較的気張らないで和気あいあいの雰囲気でお茶を楽しめます。

これからも、どうぞよろしくお願ひ申しあげます。

これからも、どうぞよろしくお願ひ申しあげます。

今回、ご案内のお茶会は、濃茶席に裏千家の新開宗栄先生、薄茶席に武者小路千家の山地妙久先生をお願いしての五人様茶会です。茶事を簡略にする試みです。お客様には、五人単位で、濃茶、薄茶、点心席と移動していただきます。この機会に茶の湯本来の楽しみを、ぜひ体験していただきたいと企画致しました。流れ混在ですので、初めての方も気軽にご参加下さい。（行事予定参照）

編集後記